



新着図書案内

2020年5・6月発行



『自分で作るねこの家具とインテリア』

ソファ、囲いつきベッド、爪とぎ台、ダンボールドーム、リボンのねこじゃらし…。シンプルテイストのインテリアにもぼっちりなじむ、洗練されたねこの家具をDIYする方法を紹介する。

成美堂出版編集部 // 編 成美堂出版



『動物の看護師さん』

動物看護師ってどんな仕事? 動物、飼い主、獣医師、三者それぞれに寄り添い架け橋となって治療を進める動物看護師の仕事、6人の体験から鮮やかに描き出す。

保田 明恵 // 著 大月書店



『新敬語「マジヤバイっす」 社会言語学の視点から』

「そうっすね」「マジっすか」など、ヤンキー、ガテン系、体育会系の若者ことばといわれる「っす」言葉。日常会話からメディアまで、この言葉の使われ方を分析し、その形成過程と変化していく社会的意味づけを探る。

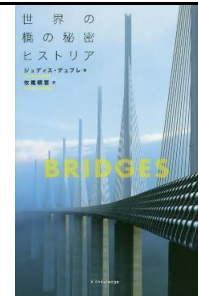
中村 桃子 // 著 白澤社 現代書館



『カクテルは楽しい! 絵で読むカクテル教本』

ミクソロジーの哲学からカクテルの技法と材料、カクテルバーの魅力、カクテルペアリング、カクテルパーティーの楽しみ方、レシピまで。カクテルの知識を全編イラストで構成し、初心者にもわかりやすく解説する。

ミカエル ギド // 著 ヤニス ヴァルツィコス // 絵 パインインターナショナル



『世界の橋の秘密ヒストリア』

ローマ帝国が世界を征服できたのも、強固な石づくりのアーチ橋をつくる石工の技術力があってこそ。2000年前につくられた水道橋から、最新の斜張橋まで、60超の美しい橋を写真で紹介する。

ジュディス デュブレ // 著 牧尾 晴喜 // 訳 エクスナレッジ



『花と昆虫のしたたかで素敵な関係』

なぜ種子植物種の多くは、受粉のための花粉の運搬を動物に依存しているのか。花と、花粉を運ぶ動物たちにもつわるさまざまな話題を、最新の知見も取り入れながら、カラー写真とともにわかりやすく丁寧に解説する。

石井 博 // 著 ベレ出版



『14歳からの読解力教室』

教科書、新聞、文学…。どれも日本語で書かれているはずなのに、実はみんな「違う」。だからこそテーマによって「読みにくい・読みやすい」がある。その「当たり前」の事実をわかりやすく説明し、「読解力」の大切さを伝える。

犬塚 美輪 // 著 笠間書院



『親子で育てることば力 思考力』

ことばの意味を自分で考えて覚えれば、ことば力、思考力、学力もアップ。乳幼児期から小学校中学年くらいまでの子どもを育てる保護者に向けて、発達心理学者が「自分でワクワク学べる子」を育てる極意をわかりやすく伝える。

今井 むつみ // 著 筑摩書房

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。





『からだを測る

健康管理機器の仕組みと働き』

体温、血圧、体組成、歩数・活動量、睡眠…。近年、「からだを測る」機器が家庭に普及している。それらの指標を測る意味や、測定の方法・原理、機器の仕組み、正しく測る方法などを、やさしく解説する。

澤野井 幸哉 // 著 志賀 利一 // 著 電気学会 オーム社

『東京23区境界の謎』

東京都の特別区は23あるが、歴史をたどれば100以上の区に分かれていた時期もある。23区はいつ出来上がった? 荒川区を流れているのに荒川ではない? 「地形と境界」という視点から、変化し続ける東京を見つめる。

浅井 建爾 // 著 自由国民社

『ようこそきもの世界へ 英訳付』

「きもの」についてのベーシックな知識と魅力を紹介する入門書。日本人の歴史のなかで、きものはどのようにして生まれ、発展し、現在の形にいたったのか、100点の美しい図版とともに解説する。

長崎 巖 // 著 東京美術

『えげつない!寄生生物』

ゴキブリを奴隷のように仕えさせる宝石バチ、泳げないカマキリを入水自殺させるハリガネムシ…。寄生の中でも、宿主をマインドコントロールし、自己の都合のよいように操る技をもつ選りすぐりの寄生生物たちを紹介する。

成田 聡子 // 著 新潮社

『統計の歴史』

国力の測定、出生率、伝染病の死者数、労働環境の改善、進化論の発達、文学・芸術との対立…。形ないものに形を与え、把握、比較、分析するのに便利なツール、統計。あらゆるものに影響を与えてきた統計の歴史をひもとく。

オリヴィエ レイ // 著 池畑 奈央子 // 監訳 原 俊彦 // 監修 原書房

『英語とつきあうための50の問い』

英語はどのように言語として成り立っていった? 明治・大正時代の英語教育はどのように行われていた? 教養としての英語とは? 英語を学ぶ・教える前に知っておきたいことを、50の問いに答える形でわかりやすく解説する。

杉野 俊子 // 監修 田中 富士美 // ほか編著 明石書店

『「住む」ための事典』

「自分は、だれと、どこに、どのように住むのか」を考えるための本。「ひとりで住む」「都市に住む」「生存のための家」などキーワードを設定し、豊富な事例をあげて解説する。編者らによる鼎談、対談も収録。

篠原 聡子 // ほか編 彰国社

『ツキノワグマのすべて』

骨格、食生活、休息場所…。迫力の生態写真と最新の研究で、ツキノワグマの身体・生活・フィールドサインの秘密に迫る本。「冬眠中に筋肉は落ちない?」「ツキノワグマの祖先とは?」といったQ&Aも掲載する。

小池 伸介 // 著 澤井 俊彦 // 写真 文一総合出版

『歩く江戸の旅人たち』

総歩行距離2000キロ以上の伊勢神宮への旅は、どのようにして可能となったのか。徒歩での旅を可能とした旅人の身体技法や装い、健脚を支えた街道の交通インフラやマナー、旅の家計簿等から、「お伊勢参り」の旅をひも解く。

谷釜 尋徳 // 著 晃洋書房

『機能性野菜の教科書』

重要な栄養を含む美味しい野菜には、ヒトの健康に寄与する機能性成分もある。トマト、キャベツといった品目別に野菜の栄養と機能性を解説し、機能性を高める栽培技術、機能性野菜の効果的な食べ方も紹介する。

中野 明正 // 編著 渡辺 和彦 // ほか共著 誠文堂新光社

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。

